



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月5日

上場会社名 エムティジェネックス株式会社
 コード番号 9820 URL <https://www.mt-genex.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 均

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 長野 幸司

TEL 03-5405-4011

四半期報告書提出予定日 2022年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	834	19.9	96	60.6	101	56.6	64	66.7
2022年3月期第1四半期	695	9.7	60	2.1	64	0.4	38	8.5

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 64百万円 (67.9%) 2022年3月期第1四半期 38百万円 (9.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	59.89	
2022年3月期第1四半期	35.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	4,510	3,497	77.5	3,249.16
2022年3月期	4,588	3,475	75.8	3,228.86

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,497百万円 2022年3月期 3,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		40.00	40.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,650	9.1	170	7.8	175	9.2	110	7.7	102.19
通期	3,250	9.4	340	3.3	350	2.1	220	3.5	204.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	1,079,600 株	2022年3月期	1,079,600 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	3,141 株	2022年3月期	3,141 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	1,076,459 株	2022年3月期1Q	1,076,481 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な影響が長期化している中、重症化リスクの減退により行動制限が緩和され、社会経済活動が徐々に正常化に向かいつつあるものの、本格的な回復には至っておりません。また、ウクライナをめぐる国際情勢等により原材料価格が上昇しており、景気の先行き不透明な状況は依然として続いております。オフィスマーケットにつきましては、新型コロナウイルス感染症による企業のテレワーク浸透やオフィス環境の変化によるオフィスの集約や縮小等に起因した空室率の上昇、賃料水準の低下が続いておりますが、落ち着きつつあります。また、建設業界におきましては、工事受注は底堅く推移しているものの、新型コロナウイルス、ウクライナをめぐる国際情勢の影響による建築資材の調達の遅れによる工期の延長や価格の高騰などが懸念されます。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高834,149千円（前年同期比138,360千円増）、営業利益96,970千円（同36,605千円増）、経常利益101,586千円（同36,724千円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益64,474千円（同25,802千円増）となり、前年同期比増収増益となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

事業セグメント	当第1四半期連結累計期間		前第1四半期連結累計期間		増減	
	売上高 (千円)	セグメント 利益又は損失 (千円)	売上高 (千円)	セグメント 利益又は損失 (千円)	売上高 (千円)	セグメント 利益又は損失 (千円)
リニューアル	295,834	74,869	179,055	48,273	+116,778	+26,595
駐車場	319,203	55,543	313,516	49,354	+5,687	+6,188
施設等保守管理	195,357	△9,227	179,414	△11,575	+15,943	+2,347
保険代理	23,753	16,985	23,802	16,864	△49	+121
合計	834,149	138,171	695,788	102,917	+138,360	+35,253

・リニューアル

オフィスの内装リニューアル工事において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による一部の工事部材供給遅延は依然として継続しているものの、全体的には好調に推移した結果、前年同期に対し増収増益となりました。

・駐車場

新型コロナウイルス感染症拡大による影響が回復傾向となり、月極駐車場の契約台数の増加や時間貸駐車場の稼働が上がった結果、前年同期に対し増収増益となりました。

・施設等保守管理

新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が終了したことによるオフィスワーカーの出勤増加に伴い、オフィス向けの衛生消耗品の販売量が増加したことや電気設備システムの保守保全事業が順調に推移した結果、前年同期に対し増収増益となりました。

・保険代理

火災保険、工事保険が堅調に推移した結果、前年並みの業績となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ77,284千円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が225,793千円減少したことによるものであります。なお、現金及び預金の主な減少要因は、保険代理業務における預り保険料の支払等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ99,132千円減少いたしました。主な要因は、工事未払金が133,025千円増加、保険代理業務等における預り金が160,352千円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ21,848千円増加いたしました。これは主に剰余金の配当43,058千円、親会社株主に帰属する四半期純利益64,474千円を計上したことによるものであります。

以上の結果、総資産は4,510,871千円、負債合計は1,013,286千円、純資産合計は3,497,585千円、自己資本比率は77.5%、1株当たり純資産額は3,249円16銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、前回予想（2022年5月13日発表の「2022年3月期 決算短信」に記載）から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,846,352	1,620,559
受取手形、売掛金及び契約資産	206,383	355,983
完成工事未収入金	29,332	51,624
未成工事支出金	1,845	21,900
関係会社短期貸付金	2,000,000	2,000,000
その他	38,711	31,086
流動資産合計	4,122,625	4,081,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	89,347	89,347
減価償却累計額	△20,164	△21,188
建物及び構築物（純額）	69,183	68,159
機械装置及び運搬具	2,087	2,087
減価償却累計額	△1,367	△1,439
機械装置及び運搬具（純額）	720	648
土地	58,820	58,820
その他	46,554	46,679
減価償却累計額	△38,271	△39,146
その他（純額）	8,283	7,533
有形固定資産合計	137,007	135,160
無形固定資産		
のれん	120,894	112,258
その他	1,379	1,265
無形固定資産合計	122,273	113,524
投資その他の資産		
投資有価証券	42,705	43,235
敷金及び保証金	58,216	58,075
繰延税金資産	86,072	78,894
長期預金	18,400	—
その他	854	827
投資その他の資産合計	206,249	181,032
固定資産合計	465,530	429,718
資産合計	4,588,156	4,510,871

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	92,574	96,467
短期借入金	6,000	—
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	23,676	23,676
工事未払金	75,448	208,473
未払法人税等	106,118	33,839
契約負債	57,737	54,051
預り金	175,549	15,197
賞与引当金	29,595	34,657
資産除去債務	4,706	4,706
その他	83,233	91,800
流動負債合計	664,639	572,869
固定負債		
社債	70,000	65,000
長期借入金	141,797	135,878
長期預り敷金	93,267	94,876
退職給付に係る負債	108,281	109,378
役員退職慰労引当金	34,433	35,283
固定負債合計	447,779	440,417
負債合計	1,112,418	1,013,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,072,060	1,072,060
利益剰余金	2,413,267	2,434,683
自己株式	△11,636	△11,636
株主資本合計	3,473,691	3,495,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,045	2,477
その他の包括利益累計額合計	2,045	2,477
純資産合計	3,475,737	3,497,585
負債純資産合計	4,588,156	4,510,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	695,788	834,149
売上原価	510,313	613,428
売上総利益	185,475	220,720
販売費及び一般管理費	125,110	123,749
営業利益	60,365	96,970
営業外収益		
受取利息	2,756	2,498
受取配当金	829	931
雑収入	623	815
その他	719	653
営業外収益合計	4,929	4,899
営業外費用		
支払利息	432	189
その他	—	93
営業外費用合計	432	283
経常利益	64,862	101,586
特別損失		
リース解約損	789	—
特別損失合計	789	—
税金等調整前四半期純利益	64,072	101,586
法人税、住民税及び事業税	18,571	30,124
法人税等調整額	6,829	6,987
法人税等合計	25,400	37,112
四半期純利益	38,672	64,474
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,672	64,474

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	38,672	64,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	432
その他の包括利益合計	△6	432
四半期包括利益	38,665	64,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,665	64,906
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	リニューアル	駐車場	施設等 保守管理	保険代理	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	179,055	313,516	179,414	23,802	695,788	—	695,788
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	179,055	313,516	179,414	23,802	695,788	—	695,788
セグメント利益又は 損失(△)	48,273	49,354	△11,575	16,864	102,917	△42,552	60,365

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各事業に帰属しない管理部門の一般管理費であります。

2. 各報告セグメントの外部顧客への売上高は、顧客との契約から生じる収益であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	リニューアル	駐車場	施設等 保守管理	保険代理	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	295,834	319,203	195,357	23,753	834,149	—	834,149
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	295,834	319,203	195,357	23,753	834,149	—	834,149
セグメント利益又は 損失(△)	74,869	55,543	△9,227	16,985	138,171	△41,201	96,970

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各事業に帰属しない管理部門の一般管理費であります。

2. 各報告セグメントの外部顧客への売上高は、顧客との契約から生じる収益であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積り)

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積り)の仮定に重要な変更はありません。